

# 8 水泳プールでの 重大事故の法律問題

望月浩一郎 弁護士、虎ノ門協同法律事務所

## 1. スポーツ事故判例と 水泳プールでの事故判例

(財)スポーツ安全協会が主催するスポーツ安全保険の1999年度の競技種目を水泳とする保険加入者数は204,146人であるが、保険給付事故は249件に留まる。事故発生率は0.12%であり、種目別に見ると事故発生率の低い競技種目の1つであり、安全なスポーツと言える(図1)。

一方、2006年12月までに公刊集に掲載されたスポーツ事故をめぐる民事損害賠償請求事件、刑事事件及び各種保険給付請求事件判例(一部未掲載を含む)は416事件あり、種目別では安全なはずの水泳関係の事件が87件と全体の約5分の1を占める(図2)。

すべてのスポーツ事故が紛争となったり、訴訟となるわけではない。野球においてデッドボールを、サッカーにおいて捻挫を、バレーボールにおいて突き指をしても訴訟とはならない。これらのケガは、これらのスポーツに伴い避けることができない危険が現実化したものであり、これを完全に防ごうとするならスポーツは成り立たない。スポーツをする者は、この避けることができない危険が現実化したとしても、この結果を受け入れる意思でそのスポーツに参加をしているので紛争とはならないのである。

ところが、スポーツに内在する危険でも、当事者が避けることができると考えている危険、言い換えればその危険が現実化することが許容されていない場合には事故が紛争になる。事故の結果が重篤な後遺障害や死亡という重大なものであれば、紛争となる可能性はさらに高くなる。

溺死してもかまわない、飛び込み事故で頸椎・頸髄損傷による四肢麻痺になってもかまわない、そのような結果を受け入れる意思を持ってプールで水泳をするという者はいない。このような水泳において避けることが可能であると考えられている重大事故が生じると、深刻な紛争となる。

当事者が許容していない事故を防止することがスポーツ指導者およびスポーツ施設管理者にとっての課題であり、水泳関係の訴訟事件数が他の種目よりも多いことは、水泳指導者およびプール管理者が解決しなければならない課題が多いことを示している。

## 2. 失敗例から学ぶ

「危機管理」という言葉がある。「危機管理」は、「不測の出来事が引き起こす危機や破局に対処する政策・体制」(広辞苑)であり、スポーツ事故の予防にも共通する課題である。「危機管理」は、

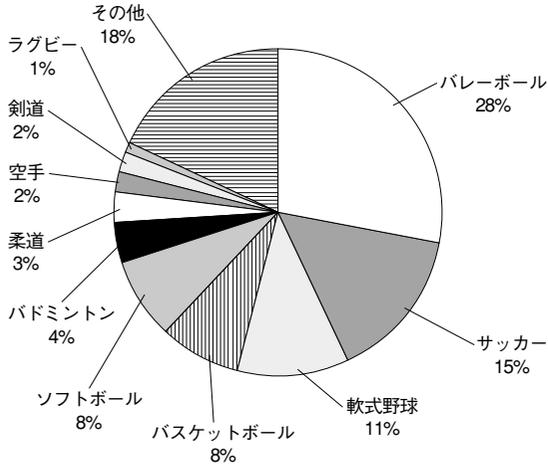


図1 種目別事故数 (スポーツ安全保険給付数)

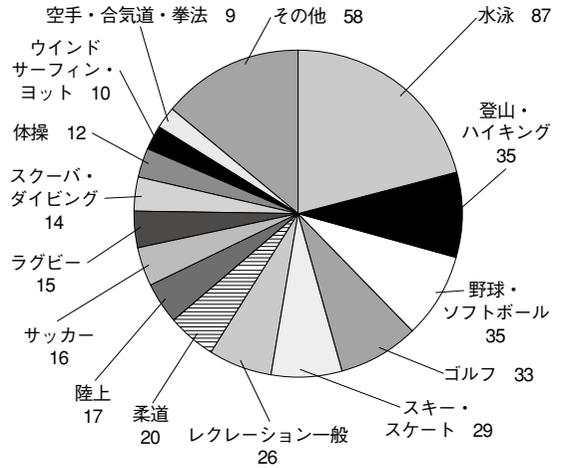


図2 種目別スポーツ審判決数

「不測の出来事」を予測しなければならず、スポーツ事故で言えば、過去に生じたことがない事故態様も予想して、それに対する備えをすることであり、難度の高い作業である。

過去において同種の事故が生じている場合には、類似事故は、すでに「不測の出来事」ではない。類似事故の防止というのは「危機管理」という難度の高いレベルの問題ではなく、単に「失敗例から学ぶ」というより初歩的なレベルでの対応で十分に可能である。類似事故を繰り返すということは「危機管理」ができていないのではなく、それ以前の「失敗例から学ぶ」という初歩的な対応さえできていないからであり、指導者や管理者の「怠惰」と言われてもやむを得ないのである。

スポーツ事故判例を検討すると、多くは過去に類似事故事例が存在する。その意味で、「危機管理」という言葉をいたずらに繰り返す前に、過去の「失敗例から学ぶ」という作業が必要である。

この「失敗例から学ぶ」という方法の1つが、過去の判例の検討から事故の原因を分析し、予防方法を抽出するという作業である。過去の事故判例の検討は、この意味で事故予防の最良の教材の

表1 年代別水泳プール事故判例数

年代	溺水事故		飛び込み事故		その他	
	件数	比	件数	比	件数	比
～1988年(昭和)	17	68%	9	29%	1	20%
1989年～(平成)	8	32%	22	71%	4	80%
合計	25	41%	31	51%	5	8%

1つである。

水泳関係事故判例87件から川・湖・海での事故を除いた水泳プールで発生した61事故の判例を大別(表1)すると飛び込み事故(31件51%)、溺水事故(25件41%)、その他(5件約8%)である。どの事故事例を見ても、過去に同様の事故は生じており、「不測の出来事」どころか、過去の失敗例が多数存在するにもかかわらず、十分な対策が講じられないまま事故が繰り返されている。

水泳プールでの重大事故の予防という点では、飛び込み事故と溺水事故の防止措置を十分にとることができれば、法的紛争となるような水泳事故の90%以上が予防できることになる。

判決を時系列に検討すると溺水事故が次第に減少しているのに対し、飛び込み事故は次第に増加